

竜王町 グランドデザイン 構 想

未来へ 竜王2050プロジェクト

～竜王の原風景に抱かれた安全でテクノロジーなまちづくり～

30年後のまちの理想の姿

竜王らしい風景の中で 心豊かに暮らせるまち

- 自然の豊かさや恵みを実感できるまち
- 人々の笑顔があふれるまち
- 生まれ育った地域で住み続けることができるまち
- 住民同士が支え合うまち

人と人との繋がりを 創造する中心核

- 子ども、高齢者、外国人にいたる全ての人の繋がりの創造
- 多様な個性を発揮できる活動の場としての機能充実
- エネルギーの効率的利用、施設の適切な維持管理

未来を担う子どもを 育むまち

- 竜王の伝統を学ぶ
- 外国語や技術革新の先端を走るにふさわしい教育環境
- 子育て・教育環境の発信
- 住み続けたい、帰ってきたい、移り住みたい気持ちの醸成

誰もが安全・便利・健康に 暮らせるまち

- 社会基盤の整備、次世代エネルギーの導入
- 移動しやすい道路整備、自動運転技術の活用
- IoTを活用した健康づくりや暮らしやすさのサポート

「made in 竜王」の産業を 育むまち

- AI等を利用し、農業の経営体や生産体制を強化
- 地域特性を活かした農業、農業を活かした観光産業の推進
- 竜王から世界に発信できる、ものづくり産業のまち

安心・安全なインフラの整備

- 日野川の改修
- 国道8号の機能強化
- Society5.0への対応

各地域におけるコンパクトな土地利用形成、住み慣れた地域での定住環境の整備

道の駅の機能充実、竜王ブランドの強化と魅力の情報発信



自然体験型レクリエーションエリア



まちの玄関口として賑わいが感じられるエリアづくり



広域連携を促進する国道8号のバイパス化

広域交通の利便性を活かした産業交流軸の形成、新たな開発や企業の誘致

中心核へのアクセス性を高め、南北に移動しやすい幹線道路の整備

野洲方面と竜王ICを結ぶバイパス道路の整備

竜王の原風景の保全

新たな工場や研究開発機関等の誘致、ものづくり産業の振興



滋賀竜王工業団地と国道1号の連携強化を図るバイパス道路の整備

湖南工業団地と竜王ICの連絡性を高めるバイパス道路の整備

自動運転技術を活かした次世代自動車の開発など、新しい車社会への対応

水害防止に向けた日野川の大改修

集落内を通る幹線道路のバイパス化

【全体的な考え方】

- ◆ 中心核の活性化
- ◆ 集落や地域のバランスある発展
- ◆ 中心核と各集落や各拠点のネットワークづくり

地域力を活かした持続可能な自治組織、地域で支え合うコミュニティづくり、総合診療・在宅医療の充実等



東西・南北に移動しやすい、中心核にアクセスしやすい道路網の整備

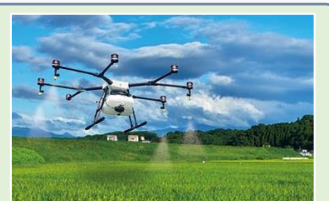
企業やバス事業者との連携による無人走行バスの運行



中心核への更なる都市機能の集約化、町の顔にふさわしい良好な町並み景観の形成、多様な交流の創出等



AI・ICT技術を活かしたスマート農業、地域特性に応じた農業の展開、農業を活かした観光の推進



地域拠点としての道の駅の機能充実

各地域における身近な生活サービス機能の維持・機能強化、自治組織の見直し